

シルバー 江田島

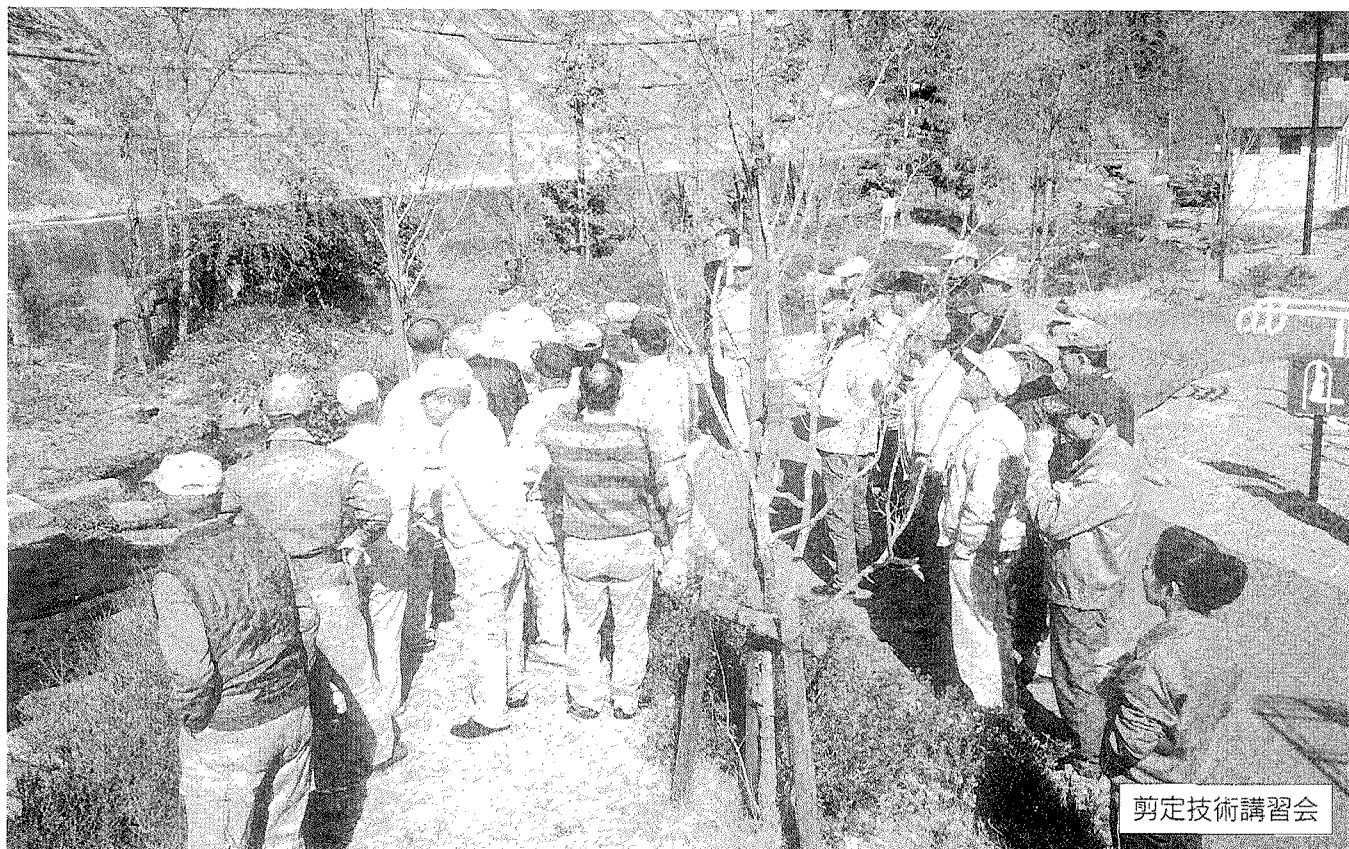


第 20 号

平成14年7月1日

＜発 行＞
㈱江田島町シルバ－
人 材 セ ン タ ー

江田島町中央1-15-15
江田島町シルバ－ワークプラザ
TEL (0823) 42-5211
FAX (0823) 42-5051



剪定技術講習会

剪定技術講習会は 何度参加してもいい

SP事業の剪定講習会が本年も三月十八、十九日に開催されました。参加者は年々増加しています。今年は大柿町高齢者事業団の会員さんが数名参加していました。

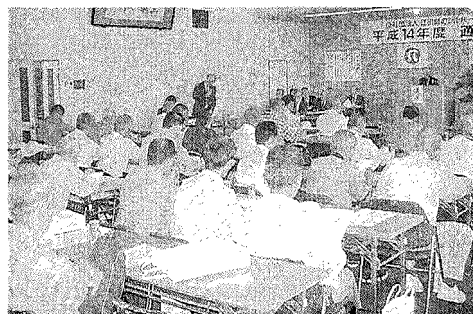
会は座学と実物を教材にして行われました。座学の教材は図解入りなのでよく分かり、後日、疑問が生じた時にひもとけば参考になるでしょう。

実習は当センター近くの公園の松を使って行われました。松は一枝一枝異なっているの、それぞれの枝についての剪定の仕方を見るので分かり易かったです。

池の上に伸びている松なので、池の上に渡り板をかけ、シートを覆い、会員が個々に剪定しました。その後、先端部分を講師が実演してみせました。この部分は転落のおそれがあり、危険な作業であります。それでも短時間に剪定したのは三十年のキャリア、ただ飯は食っていないと思いました。

今年、何かの都合で参加出来なかった会員さんも、次回は是非参加されることをお勧めしてペンをおきます。

平成14年度5月期 通常総会 開催される



平成十四年度五月期総会が、五月二十七日午後一時から江田島町役場大会議室で開催されました。

当日は、たまたま平木町長出張中のため代って佐原助役、道口町議会議長、吉田福祉保健課長の三氏が来賓としてご臨席されました。

まず崎山事務局長の開会のことば、山佐理事長入院中のため代って板垣副理事長が、中国の諺に「老いたる馬は道を忘れず」とありますが、判断を誤らないよう人生を過しましうとあいさつ。続いて佐原助役、道口議長から平素町行政にご協力下さり感謝しております。シルバー人材センターの受注が公共より民間の方が多くなったと聞いておりますが、このことはシルバー人材センターの存在が大いに根づいたものであり、今後ますますのご活躍を祈りますとの祝辞がありました。

次に定足数は、会員数二四七名、本日の出席者数六三名、委任状二二名

計一八五名となり過半数に十分達しており、総会は成立いたしました。報告、議長に角川伍助氏を選出し、議事録署名人に鍵本 伍、八木信寿の両氏を選出して議事に入りました。

まず第一号議案平成十三年度事業報告について、続いて第二号議案平成十三年度収支決算について、をそれぞれ上程され、小松監事から監査報告があった後、各議案ごとに審議し、満場一致で原案どおり承認されました。

次に記念講演として、安芸市民病院長の重藤紀和先生の「高齢者の健康について」と題し、

快適で働きやすいセンターづくり

このたび四月一日をもちまして、(株)江田島町シルバー人材センター事務局長に就任いたしました。

当センターは、高齢者の皆様が主体的に生きがい高め、更に健康で明るい生活を営むことを目的に平成四年十月に設立され、今年で十年を迎えようとしています。以来その組織・活動は年々着実に伸び、地域社会に大きく寄与しているところであります。

これからも元氣なセンターの果たす役割は、ますます重要なものとなってまいります。

今後ともより強く地域に密着し、住民の皆さんから親しまれ、愛され、信頼され、快適で働きやすいセンターを

『我々がかかる病気は運命的に決まっているものではなく、いつの時代に生まれ、どのような生活をするかで決まりますと、スライドによって心臓病の症状、その予防法について大事なことは、日常の食生活、健康管理、歩くことから、気持の持ち方、考え方、生活の仕方、また癌。癌検診は自分は健康だと思っても、一年に一回は必ず受けましょう。症状が出たときは、手遅れです。』と話されました。

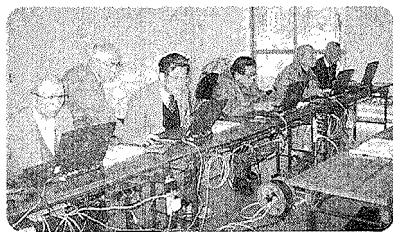
予定されていた行事をすべて終え、午後四時散会しました。(S・S記)

新事務局長 崎山 弘

目指して、会員の皆様とともに頑張っていく覚悟です。

これからの高齢化社会の進む中、その重大さを厳しく受けとめ、微力ではございますが、センター発展のため会員の皆様のご指導、ご協力を得ながら最善の努力をいたす所存でございます。

前任者風呂井事務局長同様にご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



パソコン講習会

退任あいさつ

前事務局長

風呂井 侃

大変お世話になりました。会員の皆様お元氣ですか。この会報が皆様に届く頃は猛暑の中、健康には充分配慮されることを祈念しています。

この度、私は三月三十一日をもって、事務局長の職を退任いたしました。平成七年からお世話になり、七年を経過しました。月日の過ぎる早さに、今更の感がしています。

地域に支えられ、地域に密着した就業活動であるシルバー人材センター事業を直接体験することができたことと、併せて高齢者が「働くことを通じて社会参加」することの意識を高め、多くの会員の皆様との出会いを持つことができたことを大変嬉しく思っています。私も、一会員として「よく働き、よく学び、よく遊ぶ」ことをモットーとして、これからの人生を過ごしたいと考えています。これも健康でなければ成し得ません。

会員の皆様にも、健康を第一とされ、充分ご自愛のうえ、江田島町シルバー人材センターが住民の皆様から「なくてはならないセンター」の一員として活躍され、ますます発展されますよう祈念いたします。



リサイクル事業の先進地 ― 斐川町シルバーを訪ねて ―

本年度最後の班長研修で出雲の国に行きました。二月二十七日は斐川町のシルバーへ、二十八日は美保神社参拝のち境港漁港を見学。

斐川町シルバー人材センターの研修予定は一時半から三時の予定が三十分延びるほど熱心に質疑が交わされました。以下はそのあらましです。



斐川駅

昨年末から

リサイクル事業を始めた

斐川町の尾添事務局長は斐川町シルバーの概要を次のように説明しました。

町の人口は二七、〇〇〇人、年々人口が増えており、六十歳以上は七、五〇〇人、そのうちの四・七％三六〇人が会員です。ただ女性会員の比率が低く、増やす努力をしています。昨年末から剪定枝葉のリサイクル事業を始め、一日軽トラで三〇台程度を処理しています。組織は地域班(二十人ほどで一班)、職群班(裸・障子班、剪定班、運搬班)となっていています。問題は職群班の班長の獲得が難しく、組織がちんと出来ていないこと、会議への参加が少ないことです。

事務所はJR庄原駅舎―これには参加者一同驚きました―作業所は旧JA支所(裸、障子)、旧JR職員休憩室で、ワークプラザの建設を町に要望しています。

草刈機は自分持ち

― 質疑応答 ―

西野 草刈りはどうしていますか。

尾添事務局長 一班一〇人程度。草刈機は一五台ありますが、使用後の手入れが悪いので、今年から自分持ちにしました。

風呂井 江田島でも草刈機の扱いが乱雑な時もある。経費がかかりすぎ、いまだ、対応策を考えています。また、一

般作業班の班長さんには週二回集まってもらって打ち合わせをしています。石原理事長 町内にはいくつかの事業所があるが、仕事は伸びていません。一般の受注は伸びており、これは会員の仕事ぶりが評価されているからだと思っています。

尾添事務局長 六〇人ほどの女性が軽作業についています。この辺は玉ネギが特産で、植えつけや収穫、田の草取り、他に一般家庭の草取りがあり、評判がよく、仕事がふえています。

風呂井 車の運搬業務は町のものしか受けていません。事故対策では交通安全、救急措置の講習を行い、運搬者には二年に一回適正検査を受けてもらっています。

石原理事長 運搬者の年齢が高くなっている。講習所で運搬講習を受けてもらっています。ところで、一般作業班の班長の選出はどうですか。斐川では各地域の軽作業の班員の中から選んでいます。

風呂井 会員による推薦、要望を聞いて選んでいます。班長会には班員名簿を持参します。その時に仕事を紹介し、班長が仕事をとり、会員を選んで(作業現場に近い人中心)作業につきます。班員への連絡は班長がします。

西野 人の好き嫌いもありますが、仕事は均等に行き渡るようにしています。風呂井 つけ加えますと、班長さんに就業日数を記録したメモを渡し、不公平にならないようにしています。

八木 草刈機の消耗品は。

尾添事務局長 草刈り作業の配分金は一日、平地で五、五〇〇円、傾斜地で六、〇〇〇円。それに草刈機一台につき損料二、〇二五円を加えています。

安かった境港の魚介類

二十八日は美保神社に参拝、そのあと水木しげるロードを散策し境港の魚売場へ。魚介類が新鮮で安く、みんな数千円の買い物。大根島のボタン園で昼食後、庭園を散策。寒ボタンの美しさに感嘆しました。

事務局より

業務用帽子(男性用) ― 500円負担していただきます ―

シルバークル会員さんには、入会の際に業務用帽子を無償で支給しています。

この帽子も長年使用していますといたり、あるいは紛失したりして、再支給する際に、今までは無償で支給していました。

再支給も個人差があり、公平を期する観点から、また、センターの財政面のうえから、次のとおり改めさせていただきますので、ご理解のうえ、ご協力いただくようお願いします。

7月1日から、再支給の際は、一個につき、一部負担として500円いただきます。再支給の必要な方は、事務局へ申し出てください。

朝、作業前のミーティングを必ず

―美祢広域シルバー人材センターを訪ねて―

二月十四日、山口県的美祢広域シルバーセンターを訪ねました。

両センター理事長の挨拶の後、美祢広域シルバーの事務局長から次のような話がありました。

美祢広域センター（一市二町）の地域は、工業（セメント）、農業、観光が主な産業であり、実績は公共関係四〇％、民間企業四〇％、一般二〇％となっている。

シルバーは平成二年九月一日に立ち上げ、現在の会員数は五七〇人余で、男女の比率は六対四、年間実績は二億三千八百万円、年間会費は一、二〇〇円、就業率は一〇〇％、現在、配分金の内容アップを考えている。

朝、十分間のミーティング

平成九年四月から、朝、作業に出る会員は全員センターに集まり、十分間のミーティングの後、現場に行き、作業終了後もセンターに集まり、作業の進み具合、発注者の感想を聞くようにしている。これは、仕事の内容、注意事項の徹底とあわせて、会員の体調を観察して就業してもらうため。これを始めたのは、私が事務局長になって、それまでの状況を見たところ、五年間で五十七件の事故があり、原因を分析し、これは防げると判断したところか

ら。そこで考えた対策は、七人から八人の小集

会をもち、事故をどうしたらなくせるかを話し

合った。その時、名前や性格をつ

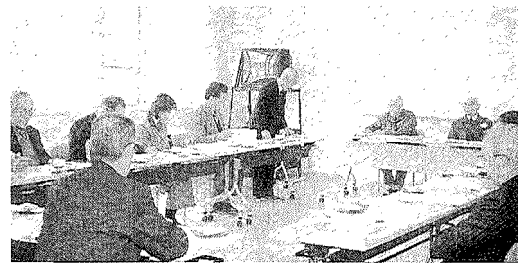
かむように心がけた。一年かけて二十九か所を

まわり、ミーティングが必要と考

え、場所を設定し、朝、夕方のミーティングを提起した。最初、抵抗はあったが、今はスムーズにいつている。

私達の資金源は健康

広域の運営は美祢市に事務局（四人）、美東町（二人）、秋芳町（二人）に事務所を設けて行っている。理事長は月に二、三回支所を訪ね、会員とのコミュニケーションをとっている。広域となると事故はなかなか無くすることができない。そこで「資金源は健康」、「怪我はしてもいけない、させてもいけない」と常々言っている。また、月に一回職員会議をもっている。



ぼちぼちその効果が出ている。そして、その仕事は情報を入れてくれた人がするようにしている。いまそういう人に奨励品を検討している。

報奨品については

ここから質疑に移りました。

山佐（勇） 提案制度はどのように考えているのか。

岸根事務局長 現在、検討中で、十四年度から実施していこうと考えている。営業マンになれと言っても、それだけでは会員の励ましにならない。補助金減も予想されるので受注をふやすことを考えると、会員の励みになることを考えなければ……。

小松 地域による作業等の調整は。事務局長 事務所で行っている。

風呂井 三つの市町名をあげた理由、また理事の選出方法、補助金は。

事務局長 市長、町長からの要請。役員は理事十九人、理事長は美祢市が出し、各地区四人それに行政の係長が入っ

ている。補助金は一、五三〇万円、この額は数年変わっていない。

風呂井 受注の見積りは。

事務局長 実地に現場を見てたて。現場を事務局員が見、会員と相談して決め、受注者に話す。

新本 就業率一〇〇％の秘訣は。

事務局長 ほとんど活動しない人に電話帳の配布を頼む。また、入会した人には二週間以内に就労してもらうようにしている。

これ以外に業務拡大のポイント（井川）、小集団活動（理事長）、ミーティングの持ち方（下平、中村）、などの質問が出され、二時間があっという間に過ぎた研修でした。

金子みすゞの詩集を求める

十五日、仙崎市を訪ね、童謡詩人金子みすゞについて「仙崎の玉三郎」氏から聞き、その跡を訪ねました。そして、半数以上の会員が彼女の詩集を求め、帰路につきました。

ようこそ 新しい仲間のみなさん

新しく入会された方々です

（敬称略）

協家	常章	（江南）
宮田	裕	（江南）
丸本	ミズエ	（切串）
吉岡	秀雄	（小用）
瀬戸垣	内明	（鷺部）
杉村	治美	（切串）
沖元	正春	（津久茂）
川本	野正	（中央）
浜野	繁幸	（切串）
森井	恒子	（鷺部）
高元	嘉子	（江南）
岡本	紀子	（小用）

園庭の整地に小型ダンプ一台半の砂

五月一日、江田島幼稚園の庭の整地作業の取材に出かけました。

九時前に幼稚園に着き、園庭を見て

驚きました。大きなくぼみがい

くつもありました。これでは、

園児たちが庭で思いっきり遊

べないのでは、と思いました。

この時刻、若いお母さんが

乗用車を庭に乗り入れ、子ど

もを先生に預けて帰ります。

数台つづきました。くぼみの

原因は車の乗り入れにあるの

ではと思いましたが、園庭に

車を乗り入れなければ方向転

換出来ない。何とかならない

ものかと思いました。

九時、砂を満載した小型ダ

ンプが到着、ダンプを移動さ

せながら、くぼみに砂を落と

していきます。



われら町を支える仲間

二階のテラスで数人の子どもが、
「何してんの」

「穴ぼこを埋めてるんだよ」

返事をしながら、私も熊手をとっ

て砂をならします。

「高い所を削って平らにしないと」

と一人はシャベルで砂を削り、低

釘はステンレスでなく鉄釘を

四月二十六日、カキ業者の使う
屋形の修理作業があると聞き、出
かけました。

作業は屋形の外枠の補修、作業
する人の足場の取り付けでした。

作業員は二人、私が訪ねた時は、
作業はすでに始まっていた。

「大体、半日ぐらいの仕事です。」
外枠の補修は、傷んだ枠木の上

に新しい枠木を載せ、それをボル
トでとめる。ドリルの錐をボルト

の大きさに合わせ、穴をあけます。
三メートルぐらいの枠木にボルト

五本。ナットで締めて終わりです。
「こういう仕事はシルバーに入っ

てやり始めました。自分なりに考
えてやるのは楽しいもの。」

とは会員の言葉。

屋形の中央部分の縁に二か所、五〇
×八〇センチぐらいの広さに床板を切

い所を埋めます。一人は一輪車で砂を
くぼみに運びます。

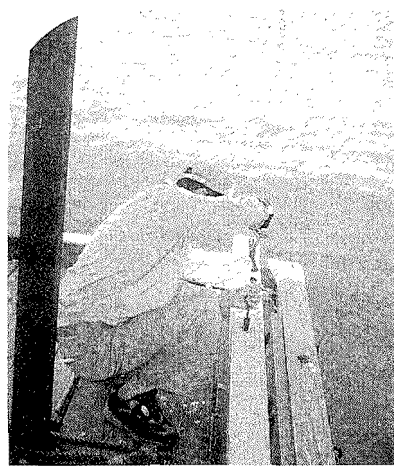
「砂が足りない。あとダンプ半分くら
いいる」

すぐ、一人がダンプに乗り、一人が
整地。最初に積んで来た砂は、昨日用

意しておいたとのこと。

「この仕事、二時間ぐらいですむでし
う」

と聞き、園を去りました。



り取り、そこに作業する時に足をかけ
る足場をつくりまします。凹字型の足場を
つくり、それを外側の枠木に四本の釘
で固定します。

「ここに打つ釘はステンでなく鉄釘。
鉄釘だと錆びて抜けなくなるので。」

と言いつつ釘打ちをつづけます。

「沖の屋形を岸まで運んでもらいまし
た。沖では電気を使えないので。」
という言葉を後に、現場を去りました。

二〇〇二年農業祭

(キュウリ祭)に出店して



平成十四年五月三日(憲法記念日)
に町内切串のシーサイドで行われ、ハ
ウス栽培のキュウリを参加した人がお
のおの摘み取って、買って帰るのであ
る。

この催しに当シルバー人材センタ
ーの会員が多数かかわることになった。

送迎車の運転、交通整理、竹炭、竹酢
液、会員の作品の展示、販売等である。

町長さんをはじめミス江田島嬢や関
係者多数が参加して午前九時開会。古

鷹太鼓の「みだれ打ち」は会場の雰囲
気を盛り上げる。

送迎車の運転、交通整理は気の疲れ
る役割だ。竹炭販売はもっぱらPRに
努める。

採りたての野菜、即席のおでん、弁
当はよく売れていた。

ビンゴゲームで最後を締める。昨年
より来場者は少なかった。干潮の時間

がマッスすれば、潮干狩が出来るので、
もっと多くなるだろうと思った。

(M・K記)

職域座談会 (7)

― 塗装班 ―

塗装は春、秋が最適

五月二十八日の午後、塗装班の話を聞きました。出席は宇根川、三好、上山、稲生の各氏、崎山事務局長、下平事務局次長で記録は下谷でした。

最近塗装の

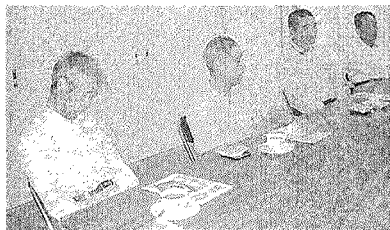
作業が楽になった

崎山 初めての司会なのですが、よろしく。まず、日ごろの苦労話や、嬉しかったことなど話してください。

宇根川 ペンキ塗りでは、まず、サンダーでサビを落とし、サビ止めを塗り、それが乾くとペンキを塗ります。以前はサビ落としに時間がかかり、楽ではなかったが、最近ペンキがよくなったのか、あまりさびてなく、仕事が楽になりました。サビ落としが大変な頃は「もう行かない」という声が出るほどでした。いまは、割合に仕事が早く進みます。

崎山 サビ落としに使うサンダーは、宇根川 家庭用の電源を使わせてもらいます。若かった頃は苦にならなかったが、いまは年をとって弱ったせいか、きつくなりました。

三好 以前からこの仕事はやっていました。ペンキ塗りは、換気を十分に、



作業の手順を

考えること

足場をしつかりすることが大切。また、屋根のアンテナの支えの針金に気を付けるようにしています。

崎山 保育所などから、すぐていねいにしてもらってありがたい。子どもも喜んでいますということ聞きます。ところで、ペンキの色は。

宇根川 前もって一応は考え、その上で発注者と相談して決めています。また、終わったあと「ええですか」と確認してもらおうようにしています。それにしても色の配合がむずかしい。ピンク色の作り方は、秋月の弾薬庫に勤めていた人を見ていたので、見まねでやっています。

崎山 塗装作業には相当の苦労があると思います。

宇根川 作業には手順があります。それを考えないでやる人がいて困ったことがあります。ジャングルジムなどはまず中側

の上から塗り終えて外側を塗るというように。

下平 公園の遊具の塗装など、今は発注があまりないですね。

宇根川 素人は、サビ止めを塗らないのか、所々ボコッと浮いています。サビ止めはどうしても必要です。

塗装は春、

秋が最適

崎山 仕事を広げないと。ところで、塗装はいつ頃がよいのですか。

宇根川 春がいちばんよい。夏はペンキがすぐ乾くし、シンナーが目にはいつて痛みます。また汗がトタンに落ちます。それを拭いて塗る。そうしないとペンキが浮くので。

下平 手直しや塗り直しなどは。

宇根川 ほとんどありません。また、以前は業者が「邪魔をする」と言っていたが、最近それが無い。小さい仕事は、シルバーはするが、業者には受けてもらえないことがある。

崎山 瓦棒を塗る時は。

宇根川 雨樋の中に垂木を入れ、なるべく雨樋が傷つかないようにします。でも、垂木のない家に行った時は困ります。最近の雨樋はビニールなので、傷めないようにしています。

上山 シンナーは目に来る。眼鏡をかけなければならぬ。船の場合は特にそうです。

宇根川 塗装は春、秋がいちばんよい。汗もあまり出ないし。

終わってお礼を

言われるのが嬉しい

宇根川 瓦棒の塗装が終わると雨樋の掃除をします。

そういうとき「お世話になりました」と礼を言われます。

上山 仕事の終わりが

「ついであれ」と言われる時がある。やらないわけにはいかないが、それは事務局に報告していません。

下平 事務局にも発注者からお礼の電話がありますよ。

上山 船の場合は検査があります。また、穴があいている時は、それをふさいで塗ります。

宇根川 サビがひどい時は「もっと早くしたら」とアドバイスすることもあります。きれいになったら本当に気持ちいいです。

下平 公園などの遊具もきれいにしておかないと、子どもたちが怪我をする場合もあるし。

ともかく

安全第一です

上山 船は、出航の関係があるので早



くしないといけない。人数が多ければ早くすむが、シルバーではちょっと無理かな。でも、漁船ぐらいいは出来ると思う。船の仕事を早くするのは、船台の使用料のこともあるし。

宇根川 手すりなどは特に手間がかかります。特に二階の手すりでは、梯子をしょっちゅう動かさねばなりません。時間はかかるし、たまに塗り残しがあることもあるし。

三好 梯子もしっかり立てないと。

宇根川 脚立がしっかりしているか確認して作業をするようにしている。

上山 船ではサビ落としを塗り、そのあとペンキを塗る。船では「これでええわ」といえるが、民家では少しでもよくしようとやっています。

宇根川 場所によっては、一人に下を支えてもらうこともあります。屋根の上で脚立を使う時もあります。こういう時は特に安全に気をつけます。また、雨が降るとすべて駄目になるので、天気には気をつけます。

崎山 ローラーを使うことは。

上山 ローラーでやると、ペンキが沢山いる。刷毛の方がずっと少なくてすむので使いません。

宇根川 刷毛は大体五〇ミリを使っています。八〇ミリでは重くなるので。また、民家ではローラーは使えません。ぶつぶつが出来ますから。

崎山 仕事がいねいであるから、受注者に喜ばれ、次の受注につながりますね。

マスク・眼鏡の支給

支給を

稲生 夏は、できればしたくないですね。屋根が焼けていて、靴の底が熱くなります。

宇根川 夜露がおりることを考え、三時過ぎに止めるようにしている。

崎山 新しい人が塗装班に入ってくるといいですね。

上山 塗装作業にはある程度経験のある人でないとむずかしい。誰でも出来る仕事だと安易に考えてほしくない。

崎山 経験者と一緒に仕事につき、教えてもらって技術を身につけるといいですね。

天井はマリモクリーナーで埃をとる

二月十七日、朝九時からセンターで室内清掃の講習会を開き、日曜日にもかわらず参加者は三十人弱、講師の糸曾さんの話に質問もとび出す熱心な会でした。

糸曾さんは、テーマを日常清掃にしろ、まず、建物がきれいかどうかを判断する場所は、と問いかけました。それに対して、玄関、トイレ、床、壁などの答えがかえり、では玄関からということで話が始まりました。

掃除は上から下へ

掃除は上から下へが原則、そこでま

宇根川 サビ落としではすぐ埃が出て、マスクがすぐまっ黒になり、使えなくなる。使い捨てマスクを使っているが、使い捨てでいいから用意してもらえるとありがたい。

稲生 それに保護眼鏡も。今まで自分で買って使っているが、サビがとんで傷みがはげしい。

下平 マスクと眼鏡については事務局で検討しようと思います。

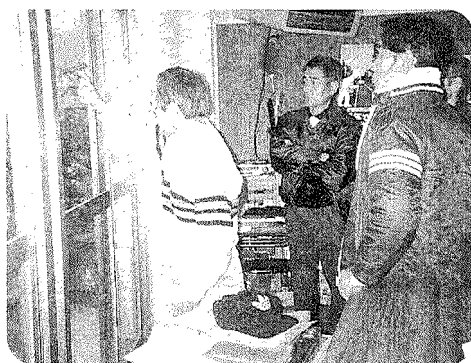
宇根川 それに軽量の換気扇とサンダーも。

崎山 いろいろ要望が出ましたが、要望はその都度出してください。要望にそえるように考えますから。今日は本当にご苦労さまでした。

ず天井。天井は埃がついている。そこで曲がるマリモクリーナーで埃を拭きとる。クリーナーのはたきは、こすると静電気がおき、それに埃が付着し、汚れがとれる。拭き終わったあと、はたきは少し洗剤を入れて洗い、乾かせばよい。

次は電灯。まず電球を水拭き。かさはマジックリンを使い、あとで水拭きをしていねいにする。

台所の換気扇は半年に一回掃除をすればよい。換気



扇の汚れは油が主体。油は放置しておけば酸化して汚れが落ちにくくなる。そこでファンなどを外して洗剤の水溶液につける。水溶液は多いほどよく汚れは落ちる。一時間ほどつけた後、タオルまたは刷毛で洗い、水洗いし、乾かせばよい。洗剤はパワーマジックリン。

外れない物は、下に紙などを敷き、洗剤をキッチンペーパーにしみ込ませて器具にあて、三十分くらいしてペーパーをとり、水洗いをする。

次に壁面。マリモクリーナーを使って上から下まで拭く。水性塗料の塗ってある壁面では水や洗剤を使わず、空拭きだけにする。塩化ビニールの塗料の場合は洗剤を使い、あとの水拭きをしっかりする。壁面の清掃は、埃を取るのが基本と考える。

風呂のメジのかびは、の質問に、換気が第一で、かび防止剤を塗っておくこと。生えたかびは、カビキラーを幾度も塗って落とすようにするなどの説明がありました。

互助会の花見会に参加して



恒例のシルバー人材センターの花見会が、四月四日江田島町の中央公園で開催されました。気象庁の発表では、今年の桜の開花予想は全国的に十日も早いとのこと。当江田島地方も例外でなく、いつもの年より一週間も早い開花となり、会場の公園の桜も満開を過ぎ、既に五分散りの状況の中で多少時期ずれの花見会となりました。

十時から始まった恒例のグランドゴルフは、グランドの関係で正規ルールのホール数と距離が設置できないため、競技は六ホール一回戦とし、参加四十人が六組に分かれての熱戦となりました。経験のある人、一度もスティックを握ったことのない人、それぞれ真剣な一打ごとの結果に一喜一憂していたようです。中にはホールインワンで歓声をあげる人、思いつきモグラ叩きの人、大きく空振りで天を仰ぐ人、プレーする人も、観戦する人も、共に笑いの中に楽しい一刻を過ぎました。成績は竹本輝雄氏が只一人十五点で一位

となり、昨年に続いていた連勝はお見事でした。二位以下は同点打の人が多かったためジャン拳となりました。

花見の懇親会は十一時三十分から同グランドで、七十七人が参加して青空の下での宴会となりました。はじめに山佐理事長から、平素何かとご支援頂いている江田島町への謝辞と、本日の

保健師さんからのアドバイス

高齢者の健康管理シリーズ15

暑い日には日射病に気をつけて

夏によく耳にする言葉といえば「日射病」ではないでしょうか。日射病とは、長時間暑い屋外で運動したり、立っていたりするとなりやすいといわれています。

日射病の症状

- 一、元気がなくなる（無気力になる）
- 二、顔面が蒼白になり、汗をかかなくなる
- 三、頭痛、吐き気、腹痛、下痢などの症状があらわれる
- 四、重症の場合には死に至ることもある

日射病の予防

- 一、直射日光の下で活動するときは帽子をかぶる
- 二、ゆったりとした服装にする

花見会に参加した会員各位へお礼の挨拶があり、引き続き来賓としてお招きした道口町議会議長、並びに佐原助役から、当センターが地域社会と密着し更なる発展を遂げられるよう励ましと支援の力強いメッセージを頂きました。次にこの四月から新しく事務局長に就任された崎山弘氏から自己紹介があり、森下光太郎理事の乾杯の発声で宴会が始まりました。しばらくは会員相互の交流話を中心であった会場も、三十分

- 三、時々、水分の補給をする
- 四、睡眠不足や疲れているときは無理をしない

日射病になったときの対処法

- 一、体温を下げるために衣服を脱がせ、風通しのよい涼しい所に移す
- 二、冷たい水に濡らしたタオルなどで体を冷やす
- 三、冷たい水などを飲ませて、水分の補給をする
- 四、意識がはっきりしない時は、すぐに病院につれていく

日射病をおこした時は、周囲の素早い対応が望まれます。十分な予防と同時に、対処方法を身につけて、暑い夏を元気に過ごしましょう。

事務局 あなたも就業してみませんか

だより

もすると「酒無くてなんの己が桜かな」とばかり三々五々そこかしこに賑やかな談笑の輪ができ、カラオケも始まって宴は最高のムードとなりました。楽しく、笑いの中での宴会も、午後二時三十分無事終了し、全員で後片付けの後解散となりました。

この懇親会でお世話頂いた事務局そして担当地区の皆さんご苦労様でした。(A・I記)

平成十三年度当センターの就業率は八五・二％で、この年度中に就業した人は二百八人となっており、四十人の人が一度も就業されていません。就業を希望され、シルバー会員になられて、年間を通じて一日も就業されていない会員さん、自分に適応した仕事が見つかったのでしょうか？自分に合った仕事とはどんな仕事でしょうか？一度センターと相談してみてください。

センターには、毎日いろいろな内容の仕事が受注されますので、あなたに合った仕事があるかもしれません。

センターでは、会員さんが一人でも多く就業され、一日一日を有意義に過ごしていくためにも、無理をしないでできる範囲で多くの会員さんに就業していただくことを願っています。ぜひ、事務局に相談してください。ご連絡をお待ちしています。

江田島町シルバー人材センター

☎四二一五二一一